

審査基準表

評価項目		評価内容	配点
横断的データ 分析	的確性	・仕様書を的確に踏まえ、明確かつ具体的で、効率的・効果的な保健事業（介護予防事業を含む）の実施に資する提案となっているか。 ・効果検証を想定した提案となっているか。	15
	実現性	・提案者が有する知見を反映した、具体的でかつ実現可能な提案となっているか。	10
	独創性	・提案者のノウハウや知識・経験を生かした独創的な創意工夫がなされた提案となっているか。	10
保健事業の 支援	的確性	・市町村が横断的データ分析結果やニーズ等を適切に踏まえた保健事業に取り組むことを支援するような提案となっているか。	10
	実現性	・市町村のこれまでの取組や人員体制を踏まえ、市町村が自ら取り組むことができるような具体的な提案となっているか。	10
	独創性	・保健・医療・介護のデータを分析することにより得られた知見を活かすことができる独創的な提案となっているか。	5
研修会	的確性	・横断的データ分析の結果を読み解く手法やその保健事業等（介護予防事業を含む）への効果的な活用方法を、根拠を踏まえつつ正確に市町村職員や関係専門職に伝達できる内容となっているか。	10
	実現性	・研修会の運営が適切に実施できるか。 ・研修会の講師は目的の達成のために適切な想定となっているか。 ・実施効果の測定方法が想定されているか。	5
	独創性	・市町村等の主体的な参加を促すような工夫がされているか。 ・研修会に参加した者が保健事業（介護予防事業を含む）及び普及啓発活動等に活かすことができるよう工夫がされているか。	5
次年度以降の 業務展開	・次年度以降の事業展開を見据えた市町村ごとの具体的な業務の改善に資する提案となっているか。		10
業務実施体制及び スケジュール		・組織体制や人員、専門的知識を有する者の配置など、事業を実施する上での体制が十分確保されているか。 ・スケジュールは本事業を適切に実施できるものとなっているか。	5
経費		・経費の詳細が示され、適切に計上されているか。	5
合計			100